

■平成 24 年度第 1 回中仙地域協議会会議録

1 日 時 平成 24 年 5 月 31 日（木曜日）午後 3 時から 4 時 35 分まで

2 会 場 中仙農村環境改善センター 2 階 農事研修室

3 出席委員等

(1) 委 員（敬称略）

①出席委員（13 人）

秋山 康、金子美喜男、木元洋子、草薙幸隆、児玉誠良、佐々木堅一、高貝昇太郎、高橋 修、寺田文夫、傳農富士夫、長谷山祥子、平瀬一浩、藤田貞子

②欠席委員（5 人）

小原杏平、草薨昌美、佐藤育男、高橋辰美、富岡恵美

(2) 市職員（9 人）

皆川貢中仙支所長、田口祥吾市民サービス課長、鈴木清仙農林建設課長、鈴木良康農林建設課参事、阿部利美中仙公民館長、福田 浩総合政策課参事、高橋正人総合政策課主幹、高山知洋総合政策課主査、太田 敬（事務局）

4 地域協議会内容

【開会】

開会を宣言

【委員の交代】

J A 秋田おばこ中仙担当理事が大島清三郎さんから佐々木堅一さんに、中仙亀の子クラブ代表が井上美雪さんから富岡恵美さんに交代したため会議に先立ち委嘱状を渡した。富岡委員は欠席のため後日、郵送した。

【会議の成立】

事務局から出席委員が 13 人で 2 分の 1 以上の出席があることから、地域協議会が成立する旨を報告した。

【傳農会長あいさつ】

本日はお忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。

前回は 3 月で開かれまして、今回は新年度の第 1 回目の開催であります。前回、事務局から説明がありましたが、地域枠予算が 600 万円から 100 万円ほど多くなりまして 700 万円ほどになったと伺っております。いずれ 3 月までにいろいろな申請があろうかと思えます。皆様から十分な審査を行っていただき有効に活用していきたいと思っておりますので、審議のほどよろしくお願いいたします。

本日は委員の出席が多いわけではありますが、やはりこの会議は重要な場でありますので、なるべく出席して審議していただきたいと思っております。

また新しく委員になりました佐々木さん、富岡さんには今後よろしくお願ひしたいと思っております。

なお本日の会議には各課長また本庁からも職員の方が見えられているようであります。よろしく願いいたします。

皆様からの意見や要望など、おおいにお聞かせいただければと良いと思っております。開会に当たりご挨拶とさせていただきます。

【皆川支所長あいさつ】

農繁期のお忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございます。

ただいま、佐々木さんには委嘱状をお渡しいたしました。今後ともよろしく願いいたします。また各委員の皆様には 24 年度も御指導賜りますようお願いいたします。

前回、3 月に御承認いただきました「ジャンボうさぎお披露目事業」であります。4 月 29、30 日と 5 月 3、4、5 日の 5 日間、道の駅なかせんで開催させていただきました。親うさぎ 1 羽と子うさぎ 3~4 羽を展示したところ、大変好評でありました。秋の行楽シーズンにも開催を予定しておりますけれども、10 月開催のジャンボうさぎフェスティバル第 25 回大会の PR になればと思っております。

今年度になりまして、皆様のご記憶にも新しい、4 月 3、4 日の「爆弾低気圧」による大仙市の最大瞬間風速が 39m を記録したということで、トタン屋根やビニールハウスのビニールがはがれるなどの災害が発生しております。また停電が発生しておりまして、県内では 1 万 2 千世帯が停電したといわれていますが、中仙支所管内では 127 の行政区がございますけれども、鎌見内、長野、清水、豊川、豊岡の一部の 65 行政区、1,422 世帯が停電しております。被害にあわれた皆さんにはこの場を借りてお見舞い申し上げます。中仙支所では昨年 4 月 7 日の大きな余震を経験に、すぐに庁舎玄関に給水車を配置しまして、給水状況の伝達や被害の状況について、行政協力員をお願いし、電話により伝達、聞き取りを行いました。ところが携帯電話は通話できるものの、最近の電話は電気を使っているものが普及しておりまして、停電している地域の固定電話には繋がらないという状況がございました。このことから停電時の情報伝達、調査方法について新たな改善を見出していきたいと思っております。今後、本庁、支所あわせて勉強して参りたいと思っております。被害の状況については 4 月 21 日段階で、屋根トタン等の剥離などが全市で 388 件、樹木の倒木が 856 件、倒木の本数は 2,029 本となっております。中仙地域ではトタンの剥離などが 25 件、倒木被害が 61 件で倒木本数は 125 本となっております。このほかビニールハウスなど農業施設にも被害が及んでおりまして、管内で甚大な被害を受けた施設は 35 件となっております。昨年の大雪の影響で田植えも遅れがちに感じておりますけれども、自然の猛威による被害が今後、ないことを祈っております。

今日、5 月 31 日、出納閉鎖という時期を迎えておりまして、平成 24 年度も 2 か月を過ぎましたけれども、本年度の中仙支所の職員数でございますが、市民サービス課および農林建設課の職員は私を含めて 39 名、昨年度より 1 名減っております。また中仙公民館など教育関係の職員は 13 名、健康増進センター、包括支援センターの職員あわせて 17 名、そして施設自体の運営につきましては福祉法人に移行になりましたけれども市職員として八乙女荘並びに桜寿苑に派遣されている職員が 47 名、東西の両保育園には 11 名が出向という格好になっております。また新しく今年度から大仙市の公文書を整理・保存するために中仙支所の 2 階、前の議会事務局の隣に総務課分室として「アーカイブズ」が設けられております。職員 1 名と臨時職員 3 名で現在作業を行っているところです。以上、合計しまして 130 名が中仙支所管内で勤務しておられる職員ということになります。昨年同様、市民に対しまして親切・丁寧をモットーに業務に励んでまいりたいと思っております。出、よろしく願いいたします。

次に今年度から各地域に係る当初予算案につきまして 7 支所ごとに工夫を凝らして、地

域版の分かりやすいパンフレットをつくりなさい、という市長からの指示がございまして、今、皆さんのお手元に「平成24年度中仙地域の予算を紹介します」というパンフレットを配布しておりますが、予算もさることながら、どの職員がどんな担当をしているか、という事を分かるように配置図をつけまして紹介しております。各課にお問い合わせの際に御利用いただければ幸いですと思っております。なおこのパンフレットの印刷費につきましては、各支所の今年度の地域枠予算を活用させていただいております。協議会の皆様には事後承諾というような格好になりまして、大変申し訳ございませんけれども、事情ご理解いただきまして御承認賜りますよう、よろしく願いいたします。

次に今年度中仙地域では、自治会の連合組織を立ち上げる予定でございまして。既に中仙以外で、7地域とも組織化がされておりました。各地域の課題などに行政と協働で取り組んでおります。中仙地域全体あるいは各地区、または複数の自治会が課題を共有し、もしくは情報の共有を図って地域づくりに取り組んでいく、というものであります。協議会委員の皆様からも御理解と御指導賜りながら組織作りに取り組んでまいりたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

また今年度、中仙地域に新たに開設される事業を一つご紹介させていただきます。子育て家庭の親とその子供が気軽に集い、交流や育児相談を行う場を設置することにより、安心して子育てができる環境を整備し、地域子育て支援機能の充実を図ることを目的とし、来月、6月7日、10時30分からドンパル1階にあります「こどもの遊び場」が「地域子育て拠点事業」の「うさちゃんひろば」としてオープンすることになっております。アドバイザー3名おりますが、常時2名を配置しまして、開設時間は午前10時から午後3時まで。当初の開設日数は週3日、木・金・土曜日を予定しているということでございまして。事業内容は交流の場の提供、子育てに関する相談・援助そして子育て等に関する情報の提供、子育て及び子育て支援に関する講習等の実施となっておりますけれども、この事業の対象地域としましては中仙、仙北、太田のいわゆる東部地域が対象となっております。この地域の0歳児から5歳児は937人、そのうち553人が保育所入所児童でありまして、残る在宅保育児童数は384人となっております。児童家庭課が主催する事業でありますけれども、この事業も含め中仙地域の主要事業を後程、関係課長から説明させますのでよろしくお願いいたします。

今年度も地域協議会の委員の皆様からは、御指導賜りますようお願いいたします。ご挨拶とさせていただきます。本日はどうかよろしくお願いいたします。

【職員紹介】

支所長から支所幹部職員および本庁総合政策課職員を紹介

支所長	皆川 貢
中仙支所市民サービス課長	田口 祥吾
中仙支所市民サービス課参事	小松 孝勝 (出納閉鎖のため欠席)
中仙支所農林建設課長	鈴木 清仙
中仙支所農林建設課参事	鈴木 良康
中仙公民館長	阿部 利美
中仙公民館参事	草薙 祐喜 (教育委員会会議のため欠席)
中仙支所市民サービス課	太田 敬 (事務局)

総合政策課参事	福田 浩
総合政策課主幹	高橋 正人
総合政策課主査	高山 知洋

以下、傳農会長の進行のもと、議題に入る。

【議題】

(1) 会議録署名委員の指名

会長が木元洋子及び高橋修の両委員を指名、異議なく了承された。

(2) 平成 24 年度中仙地域主要事業について

・市民サービス課長説明

地域振興事業（地域枠予算）・・・今年度 100 万円増額

自治会育成支援事業

地域交通運行事業

出前講座

地域子育て支援拠点事業

高齢者福祉事業

高齢者生活支援事業・・・温泉券が 24 枚から 12 枚になった

ごみ収集事業・・・粗大ごみ、発泡スチロール回収日を説明

ごみ袋無料配布事業

消防・水防・防災関係事業・・・中仙支団旗更新

を説明。他に八乙女荘の指定管理が今年度からむつみ造園に変更になったことを説明。

・農林建設課長説明

フロンティア農業者研修・・・新規就農者に県と市が連携。月額 75,000 円支給

農業振興情報センター事業・・・太田地域に設置

農業夢プラン実現事業・・・畑作への補助

土地改良事業・・・中央地区ほ場整備事業が採択（300ha）

農地、水保全管理支払交付金事業・・・農地、水、環境保全対策事業の後継事業

道路維持管理事業

道路新設改良事業

交通安全施設整備事業

LED街路灯ESCO事業

公共下水道事業

快適居住環境整備事業

住宅リフォーム支援事業・・・今年度の工事費の 10%まで

除雪事業

を説明

・中仙公民課長説明

ドンパル自主事業

生涯学習作品展

清水分館和室畳交換

八乙女球場水銀灯安定器取替修繕

サンビレッジ中仙高圧区分開閉器取替

地域子育て支援拠点事業

を説明

会長 説明が終わりましたが、なにかご質問等ありませんか。まず市民サービス課の事業から。草薙委員どうぞ。

草薙委員 勉強不足で申し訳ありませんが、「地域児童健全育成推進事業等」という事業の予算が大きいわけですが、その中の「八乙女児童クラブ」の開設運営費というのを分かりやすく説明願います。

市民サービス課長 親が共働きで、日中、家に帰っても誰もいない児童を放課後に預かるという事業です。職員が常時3名おりますが、その方々の人件費ですとか、児童のおやつ代等でございます。平日、親が共働きで誰もいないとなれば朝から夜6時までとか、そのような感じで子どもを預かって、より良い生活の場を提供するというような事業です。

草薙委員 施設の場所は？

市民サービス課長 場所は元の中仙幼稚園、中仙小学校の横の建物です。

金子委員 これは長野地区だけ？

市民サービス課長 中仙地域全体で1つです。太田地域には太田地域の施設があります。

金子委員 長野地区以外の親はそこに迎えに行くんですか？

市民サービス課長 来るときは、こちらで迎えに行きまして、帰るときは親が迎えに来ることになります。祝日や日曜は親が連れてきて、帰りも迎えに来るという形になります。今回の4月の「爆弾低気圧」のときも、学校は臨時休校になったわけですが、そのときも親が働きに行っている児童は朝から児童クラブに来て生活しております。

金子委員 連れてくる時は支所の車ですか？

市民サービス課長 はい。普通乗用車1台と、10人乗りのワゴン車1台で対応しております。

会長 よろしいですか。他にございませんか。それでは農林建設課の事業について。はい、どうぞ。

金子委員 浄化槽について。家庭の浄化槽は良いんだけど、事業所が浄化槽を使って流している場合があるけれど、その場合の検査とか、正常に機能しているというような検査について市の方に権限はないんですか？

農林建設課長 合併浄化槽も含めて、検査は法定検査となっております。

金子委員 極端に言えば、ずうっと業者まかせになる。それに対して監査とか何かは入るの？

農林建設課長 監査とかは入りませんが、法律に基づいた検査がされなければな

らないことになっております。

金子委員 分かりました。

会長 はい、他に。どうぞ。

佐々木委員 9 番の「農地、水保全管理支払交付金事業」で、H24 年度からということになっておりますけれども、国では去年、H23 年度から始まっているはずなんですけれども。

農林建設課長 昨年までの農地対策として、国では事業を早めまして 23 年度から実施している経緯もございます。秋田県では財政状況も考慮しながら 23 年度からという事になっておりまして、いずれ期間としては 5 年間ということで我々は説明を受けております。

佐々木委員 環境保全事業も同じものでないですか？

農林建設課長 環境保全と同じ内容になっております。

佐々木委員 環境保全事業は「農地、水」とはまた違いますよ。

農林建設課長 同じ内容ですけれども。

佐々木委員 「農地、水」に関しては中仙では新山と我々の 2 つしかないはずですが、ここには 18 組織とあるんですが、ちょっと違うんじゃないんですか。

農林建設課長 そのとおりでございますけれども、佐々木委員が代表をしております組織について、それから新山もそうですけれども、「農地、水」の組織の中で、ハード部分の工事をやる場合の組織が、今言われたのですけれども、全体の名称は、今までの「農地、水環境保全向上対策」の名称が「管理支払交付金事業」に変わって、「二階建て」の部分という事で、この枠の中の一つだという事で認識していただければ、内容は同じです。

佐々木委員 分かりました。何かダブっているなと思ひまして。

会長 よろしいですか。建設事業の 7 番、住宅リフォーム支援事業ですが、市のほうで 10%、県からも 10%出ると聞いているんですが。

農林建設課長 そのとおりでございます。市のほうは減額となりましたけれども、県も同様の額で補助することになっております。

会長 そうですよ。合わせて 20%ですよ。

農林建設課長 そのとおりでございます。

会長 農林建設課関係、他にありますか。よろしいですか。それでは中仙公民館関係は、ありませんか。各課長の皆さんありがとうございます。それでは次に(3)の地域枠予算に

移ります。一括で説明してください。

(3) 地域枠予算事業について（説明者：田口市民サービス課長）

実施類型Ⅰ型（市が主体となる事業）

1. 豊川小学校相撲場土俵表面補修事業（豊川小学校）

事業の内容…土俵の表面の補修

事業費…¥105,000 円

2. 案内板整理統合事業（市民サービス課）

事業の内容…みんなが守る八乙女山の看板に、既存の「八乙女温泉、八乙女公園
および中仙小学校」の看板を統合する。

事業費…¥75,600 円

3. 案内板修繕事業（市民サービス課）

事業の内容…市道 25 号線の清水上沖ノ郷に設置している「清水小学校・公民館、
八坂神社」を記載した案内板の支柱の修繕

事業費…¥89,775 円

4. 交通安全看板塔修繕事業（市民サービス課）

事業の内容…ドンパル前にある交通安全看板塔の修理

事業費…¥399,000 円

5. 中仙庁舎雪害倒木支柱取り付けおよび庁舎周り剪定事業（市民サービス課）

事業の内容…雪害により倒れた木への支柱取り付けと庁舎回りの整枝剪定

事業費…¥225,000 円（支柱取り付け ¥40,000 円 剪定 ¥185,000 円）

6. 菅江真澄の道標柱改修事業（市民サービス課）

事業の内容…菅原神社の標柱の表面が劣化しており、全面をシートで貼り修復する。

事業費…¥19,950 円（全面出力シート ¥19,950 円）

7. 中仙地域予算及び各課等職員配置パンフレット作成事業（市民サービス課）

事業の内容…平成 24 年度中仙地域の事業と予算および各課等職員配置図パンフレ
ットの作成、印刷。全戸に配付する。

事業費…¥240,000 円（@75×3,200 部）

実施類型Ⅱ型（地域団体と市の協働事業）

1. 中仙八乙女会ふるさと芸能まつり事業（中仙八乙女会）

事業の内容…平成 24 年 10 月 27 日（土） 11:00～15:30、会場は大仙市中仙市民会館
ドンパルで規模は 500 人程度を想定。入場料は無料とするが、当日の
混乱、事故防止のため入場整理券を発行する。

事業費…¥450,050 円・会場使用料(52,500 円)・設備使用料(76,150 円)・冷暖
房料(32,400 円)・印刷製本料(37,000 円)・音響照明借上料(252,000 円)

2. 長野地区子供会・育成会親子共同花壇づくり事業（長野地区子供会育成会連合会）

事業の内容…下川原・開地区から袴田地区まで、各地区に設置している花壇や子供

会などが準備しているプランターに植栽し、市が苗を提供し各子供会育成会が管理を行う。8月中旬に花壇を回り審査し、10月開催の長野分館まつりで「写真展示」し表彰する。

事業費…¥54,000円 (@90×600本 マリーゴールド、サルビア各150本
ジニア、ビオラ、メランポジューム各100本)

3. コミュニティづくりレクレーション事業 (中仙地域コミュニティ・レクレーション連絡会)

事業の内容…各地域で組織される実行委員会が、スポーツ推進委員の協力のもと、地域づくりのためのコミュニティ・レクレーションの企画運営をし、地域コミュニティの親睦と地域住民の健康増進を図る。市では参加賞等の一部を購入し、これを支援する。

事業費…¥300,000円 (@50,000×6地区)

4. 中仙地域児童書道作品裏打ち表装ボランティア事業 (中仙表装倶楽部)

事業の内容…地域内4小学校の6年生75名を対象に、それぞれの学校に出向き、中仙表装倶楽部、中仙地域生涯学習奨励員、ボランティアが指導し、自分で作成した書道作品を指導による裏打ち表装を行い、これを卒業記念とする。市は材料を提供する。

事業費…¥167,000円 (材料費:紙どんす、テープ、表具紐 他)
75人+10枚見本分 一人分換算 ¥1,965円

5. 中仙庁舎西側、八乙女荘、桜寿苑環境美化活動 (長野中16期会)

事業の内容…中仙庁舎西側に900本のマリーゴールドを植栽し、八乙女荘・桜寿苑に会で購入したプランターにマリーゴールド、ペコニアあわせて300本を植栽する。市で苗、肥料、除草剤を提供し、長野中16期会が植栽及び管理を実施する。

事業費…¥122,000円 (苗代108,000円、肥料代6,000円、除草剤8,000円)

6. ドンパン節のふるさと活性化及び宣伝事業 (ドンパン祭り実行委員会)

事業の内容…ポスター、各戸配布プログラム、当日用のチラシ、高橋一蔵氏のキャラクター手ぬぐいを市が用意し、ドンパン祭り実行委員会がこれを使って祭りの成功と地域活性化及び宣伝に努める。

事業費…¥932,400円
・ポスター500枚(131,250円)・チラシ4,000枚(66,150円)
・プログラム3,500部(393,225円)・手ぬぐい1,500本(341,775円)

実施類型Ⅲ型 (地域づくり事業補助金)

1. 豊成中学校創立60周年記念事業 (創立60周年記念事業実行委員会)

事業の内容…平成24年10月27日(土)、会場は豊成中学校体育館。式典を行い感謝状及び記念品贈呈する。講演会は桂三若(秋田お笑い大使)を予定。他に記念誌の発行、野球大会(5月6日 八乙女球場)、卓球大会、バレーボール大会、テニス大会を開催し、また魁新報への学校紹介を掲載する。

事業費…¥1,275,000円 (式典費、記念品代、講演会費等)

うち¥300,000 円の補助を申請する。

以上、3月に了承されたものを合わせて、4,629,870円となり残額2,412,130円となります。

会長 説明が終わりましたが、ご異議ございませんか。

1～5まで順に協議、異議、質問等なしで了承。

平瀬委員 6.菅江真澄の道標柱改修事業ですが、この標柱は旧中仙町内、いろいろな所にたくさんありますよね。で、今回は単純にこの1枚の修復ということですよね。同じ時期に作ったとすれば、あちこち痛んでいる箇所があると思うんですけども。もしそういう状況ならばまとめて一括でやったほうが良いと思うんですが。

金子委員 去年も修理したんじゃないか？

支所長 この標柱は年次計画で作られたもので、全部が同時に作られたわけではありません。24柱あるんですが、このうち、当初作られた6柱で、土に埋めた部分がグラグラしているということで、たしか2年前に何本かこの地域枠予算で修理させていただきました。全部が一緒につくられたわけではありませんので、ご理解願います。

平瀬委員 分かりました。

会長 よろしいですか。それでは次にいきます。7.中仙地域予算及び各課等職員配置パンフレット作成事業ですが、支所長からも説明がありました。よろしいですね。ドンパルはこれに載ってないんですけども。

支所長 今回は急遽言われたということもありまして、市長部局を中心に作成しまして、中仙支所のしかも1階部分しか載せられませんでした。これも毎年、このような感じで、あまり遅くない時期、4月か5月のはじめに全戸配布するという命令を受けておりますので、バージョンアップしながら、また皆様から御指導いただいて改善していきたいと思っております。今回は中仙支所に限定させていただきましたのでご了承願います。

会長 事業にはドンパルが載っているのですね。

支所長 次回は検討させていただきます。

金子委員 これは毎年作るの？

支所長 その予定です。

金子委員 だとしたら、庁舎のところにこのような看板を作って、名前だけ変えられるようにしたら良いんじゃないの。そうしたら名前の部分だけで経費は抑えられる。毎年、単純に24万ずつ掛かるわけでしょ。だとしたら名前だけマグネットにして変えたほうが経費が掛からないんじゃないかなど。

支所長 中仙庁舎に来た方々はそれでも良いと思います。しかし最近では電話での問い合わせも多くなっておりまして、誰に問い合わせたら一番話しやすいかな、というようなことも考慮して、このような配置図があれば良いのかなということで作成いたしました。

会長 さきほど支所長からもありましたが、工夫の余地があれば、工夫して、ダメだというわけではありませんから、やってください。いいですね。では実施類型Ⅱ型にいけます。1. 中仙八乙女会ふるさと芸能まつり事業ですが、何かございますか。はい、どうぞ。

藤田委員 この「中仙八乙女会」という団体は、各地域から集まって作ったものでしょうか。

市民サービス課長 豊岡を除いた、清水、長野、豊川、豊岡も何人かは入っているようですけれども、また町外の方もいるようでした。

藤田委員 いつも秋頃に生涯学習の「芸術文化発表会」ですか、その時も芸能関係の発表もあるわけなんですけれども、それとの関係は、ダブるようなことはないのでしょうか。

市民サービス課長 そちらの芸能発表会は詳しくはないですが、いずれ去年の「豊岡芸能祭り」を参考に新しい団体を作ってやりたいという申請がございましたので、今回挙げさせていただきました。

藤田委員 そうすれば生涯学習の発表のほうは経費は掛からないんですか。市のほうでやるんですか。

会長 すみません。芸文教のほうは、私、副会長ですが、こちらは 2 月にやる予定で、市のほうから一切、助成金はもらっていません。

藤田委員 自分たちの会費だけでですか。

会長 自分たちの会費でもって、自主事業でやっています。市からは助成はございません。入場料もありません。そして掛かる経費の半分は県の芸術文化協会に申請すると 50%助成するんですよ。助成額は 10 万円までなんですけど。あとの半分は芸術文化協会の会員が、年会費を取っております、各団体から。それで賄っております。市からは一切ありません。よろしいですか。

佐々木委員 関連なんですけれども、会場使用料と音響照明借上料とあるんですけれどもダブってないですか。

市民サービス課長 ライナーハウスとか、そちらのプロの方を連れてきまして音響を調整するというので、そちらのほうの借上げと言いますか、オペレーターがおりますので。

支所長 ドンパルでこのような舞台芸術をやる時は、専従の職員は 1 人しかおりません。1 人で何でもかんでもできるわけではなくて、最低でも 5 人くらいは必要になります。つまり 4 人足りないわけでした。今回の自衛隊のコンサートのような場合は、市の行事ですので市の予算でこれらのオペレーターと必要な機材の借上げを行いますけれども、このよ

うな任意の団体の場合、減免するというのも一つの方法ですけれども、やはり使用する部分については支払っていただきまして、今回、市主催でない部分の音響照明借上料、オペレーター付で、おそらく2日間、リハーサルもありますので、それらの費用が含まれていると思います。やはり裏方は見えないものですから、ドンパルにいけば何でもすぐにできるんだと思われがちですけれども、裏方のほうではかなり難儀しております。去年はやっておりませんでした、そのうちまた「バックヤードツアー」みたいな感じでやってみたいと思います。

会長　ほかにございませんか。

金子委員　この使用料は正規の額？減額にはならないの？

支所長　減額しますと、ダブるで助成することになってしまいます。二重補助になってしまいます。

金子委員　減額すると、残りの部分だけでいいんじゃないんですか。

支所長　だとすると、この25万円はもらえなくなってしまいます。会場使用料52,500円、設備使用料76,150円、冷暖房料32,400円を減免しますと、これが補助になってしまい、1回補助が出ているので、あとの補助はできませんよということになります。二重補助というのは原則、行わないことにしております。

金子委員　どっちも市役所の金じゃないの。

支所長　もう一つの理由として、ドンパルで減免、減免でやると収入額が目減りするんです。すると、あれだけの施設をもっているのに、これだけの収入かということにもなりかねませんので、ある程度、実績の額を積み上げていくというも必要ですので、助成金でお願いする場合があります。

金子委員　極端な言い方すると、全額、お金出してやることでしょ。

市民サービス課長　「出してやる」というよりも、それを「うちの方で負担しますよ」ということです。現物支給が原則のような感じなんですけれども、たまたまこれは現物支給できないので、このような形になっています。

金子委員　では、これ以外に掛かる経費というのは、例えば昼食代とかそういうのは。

市民サービス課長　それはそちらの会のほうでもってもらうことになります。あくまでも会場使用料、設備使用料、冷暖房料、印刷製本料、音響照明借上料、これについて市のほうで支給しますということです。

会長　このお金は団体に補助するものですので、あげるものはあげる、もらうものはもらうという方針です。これはドンパルに払うのではなくて、八乙女会に助成して、これで支払ってください、ということです。色をつけるということです。

市民サービス課長 直接、八乙女会にはお金は出しませんが、ドンパルやライナーハウスにこちらから支払をします。

総合政策課福田参事 地域枠予算とドンパル減免と一旦、切り離していただきまして、ドンパルの減免というのは市が主催する事業、関係団体の事業もなります。任意の団体の場合はやはり正規の料金を取っております。減額のラインは決まっております。任意の団体はお金が掛かる、ただたまたまこの事業は地域枠予算を使っている予算なので、ということです。使用料の減免と地域枠予算を切り離れたほうがよろしいと思います。八乙女会が行う事業も、例えば福田芸能団の事業もドンパルにお金を払わなくてはならないという原則です。どちらも任意の団体ですが、たまたま八乙女会は地域枠予算で認められた予算があるのでお金が盛られますよ、ということです。

会長 よろしいですか。それでは次にいきます。
2～6まで順に協議、異議、質問等なしで了承。

会長 ドンパン祭りのプログラム、ポスターはどこに注文しているんですか。

市民サービス課長 プログラムは今回、中仙印刷所です。弘文堂と交代で行っております。ポスターやチラシは仙北印刷です。

会長 いや、随分安いと思ひまして。プログラムなんか、結構、立派ですから。では実施類型Ⅲ型にいきます。豊成中学校創立60周年記念事業、事業費1,275,000円のうち300,000円。よろしいでしょうか。はい、どうぞ。

平瀬委員 過去にも豊岡小学校110周年とか中仙小40周年とか、ここ2、3年のうちにありましたよね。中仙中もたしか50周年、来年か再来年とか聞いていますけれども、学校の記念事業関係は地域枠ではじめて見た気がするんですけれども。前もありましたか？

市民サービス課長 中仙小学校は記念事業として7月にやると、それから豊岡小学校は「夢」の石碑の修理と……

平瀬委員 いずれ、何か記念のモノを準備したいので地域枠予算をお願いできないか、というのは分かるけれども、お金で30万円補助してというのは初めてのような気がしたんですが。

市民サービス課長 全部、今まで補助金でやっております。

平瀬委員 それは「獅子頭を買うため」とか、そういう補助でしたよね。記念式典とか記念品代の合算した中の補助というのは違和感があったものですから。

金子委員 何々に補助してください、という内訳がほしいということ？

平瀬委員 内訳というか、合算でこれだけ掛かるから30万円ください、というのは、何か今までとちょっと違うんじゃないかなと。例えば、講演会開催のために申請しますというようならば、今までと同じ考え方なんですけれども。

市民サービス課長 そのような形だと思います。ここに載せる段階で金額をまとめて1,275,000円と載せたと思いますけれども。

平瀬委員 分かりました。単純に「丸投げ」みたいになってしまったら、と思ひまして。別に反対とかではありませんので。

金子委員 事務局にお願いがあります。事業についての一覧表を作成していただきたいんですが。

市民サービス課長 次回から用意いたします。

会長 ちなみにこの「桂三若」って呼べば、どれくらい掛かるの？中仙のPTAでどんな人を呼んだらいいか苦勞しているから、こういう人を呼べばどの位かなと思ひて。

支所長 今、校長、教頭で検討中のようです。昨年に引き続き、「秋山先生を」というような感じなんですが、まだ固まっていないようです。

会長 議題は終わりましたが、全体的なことで何かありますか。ないようです。それでは長時間にわたりまして皆さんから熱心な意見、質問等ありました。ありがとうございました。次回からも、このようにたくさん参加するよう、特にお願いして閉会いたします。ありがとうございました。

平成 24 年 5 月 31 日

会議録署名委員

委員

委員